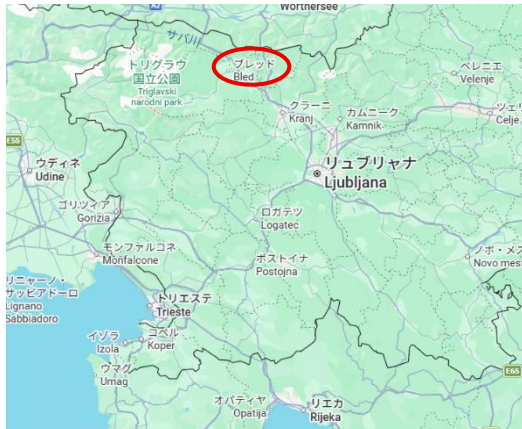


2026 World Rowing Masters Regatta 審判参加報告

World Rowing Umpire (神奈川県ローイング協会) 隈元 幸治

1 はじめに

スロベニア ブレドで開催された 2026 World Rowing Masters Regatta に World Rowing Umpire として参加しましたので、大会概要及び審判業務等について、報告します。



2 大会概要

- (1) 期 日 2026 年 9 月 9 日 (水) ～ 13 日 (日)
- (2) 参加クルー 約 5,000 名 (これまでの大会で最大の参加クルー数)
- (3) 会 場 スロベニアの首都リュブリナから約 60 km 離れたブレッド湖 (車で約 1 時間)
- (4) 参加審判員 (ITO) 24 名 + 審判長 (2 名 Slovenia の World Rowing Umpire)

その他 NTO として、地元国内審判に加えて、World Rowing Umpire の資格を持つ人がヨーロッパを中心に数多く参加

- (5) 日本からの参加クルー

毎年、日本から数多くのクルーが参加しており、今大会では、三菱ボートクラブ、瀬田ローイングクラブ、WK マスターズ、名古屋、一橋 OG などのクルーが参加。

3 マスターズレースの特徴

レースは、5 日間で、925 レースが行われ、毎日 7:30～19:00 頃まで、8 レーンを使用して、3 分間隔で休憩なく連続して、スタートします。

そのため、審判員 (26 名) と NTO (40 名) は 2 グループに分割して、1 日のレースを約 2.5 時間で 4 分割のシフトにして、1, 3 シフトを第 1 グループ、2, 4 シフトを第 2 グループが担当します。

マスターズのレースは、年齢カテゴリーによりレースが細分化されて、それぞれのレースが独立して、優勝者が決定して、メダルが授与されます。

最終日は、すべて Mix のレースが行われますが、エントリーは大会が開始し、最終日の直前までエントリーが可能で、参加しているクルーでクルーを組み参加できるなど、マスターズに参加するクルー

ーの交流の場にもなっています。

4 審判業務

5 日間のレース日で次の業務を担当しました。業務を 4 シフトに分割して、途中休憩を取ります。

1 日目：②Control Commission Out , ④Pre-Starter

2 日目：①Judge at Start, (×Responsible at Finish：落雷・豪雨により AM のレースを PM に変更)

3 日目：①Responsible at Finish, ③Pre-Starter

4 日目：①Starter, ③Starter,

5 日目：②Victory Pontoon

World Rowing Masters Regatta Bled 2026			Composition of the Jury		Saturday, Sep 12
	Umpires:	1. shift: 7:30 - 9:24	2. shift: 9:39 - 12:25	3. shift: 12:40 - 14:21	4. shift: 14:36 - 17:04
1 CC1	CC Responsible	GILI Juan Carlos	GALLAGHER Erin	PACKER Judith	CHRISTOFFERSEN Lars
2 CC2	CC Outgoing 1	CLIFFORD Gunnar	CHANTAL Neirinckx	VIACAVA MENDIZABAL Sergio	MONES CAMARA Alfredo Marti
3 CC3	CC Outgoing 2	LISI Jessica	GALISTEO ÁLVAREZ David Miguel	GILI Juan Carlos	IBROCIC Petar
4 S1	Pre-starter	PACKER Judith	KARAJOVIĆ-IBROČIĆ Ružica	VERBRUGGE Peter Paul	PAWLAK-KUBASEK Malgorzata
5 S3	Starter	KUMAMOTO Koji	IBROCIC Petar	KUMAMOTO Koji	WALKER Simon
6 S5	Judge at Start	MUIRHEAD Carol	CHRISTOFFERSEN Lars	STEPHAN Karin	GALISTEO ÁLVAREZ David Migu
7 U1	Umpire at 100 m	STEPHAN Karin	WALKER Simon	CLIFFORD Gunnar	FIALHO Carlos Alex
8 U2	Umpire at 500 m	O'CALLAGHAN Lisa	RUTENBERG Daniel	O'CALLAGHAN Lisa	GALLAGHER Erin
9 U3	Umpire at 900 m	VAN STEENWIJK Gijs	PAWLAK-KUBASEK Malgorzata	VAN STEENWIJK Gijs	CHANTAL Neirinckx
10 F1	Responsible at Finish	SCHOMBERG Caroline	MONES CAMARA Alfredo Martin	MUIRHEAD Carol	RUTENBERG Daniel
11 F2	Finish Judge	VIACAVA MENDIZABAL Sergio	LI Wai Lam	SCHOMBERG Caroline	KARAJOVIĆ-IBROČIĆ Ružica
12 F4	Victory Pontoon	VERBRUGGE Peter Paul	FIALHO Carlos Alex	LISI Jessica	LI Wai Lam
13 CC4	CC Outgoing 3	VÁLINT Adél	FURLAN Anže	VÁLINT Adél	FURLAN Anže
14 CC5	CC Outgoing 4	DŽIN Kristina	FORSHAW Eleanor	DŽIN Kristina	FORSHAW Eleanor
15 CC6	CC Outgoing 5	SIEGLER Holger	KOO Richard	SIEGLER Holger	KOO Richard
16 CC7	CC Outgoing 6	MESZAROS Laszlo	SCALA Adriana	MESZAROS Laszlo	SCALA Adriana
17 CC8	CC Outgoing 7	FELLMANN Hans	GRUETZNER Georg	FELLMANN Hans	GRUETZNER Georg
18 CC9	CC Incoming	MEZDJIC Slavko	GARCIA MAYO Martha	MEZDJIC Slavko	GARCIA MAYO Martha
19 S2	Assistant Pre-starter	MCALEAR Jessica	BUDAK Valentina	MCALEAR Jessica	BUDAK Valentina
20 S4	Assistant Starter	SZEPČYŃSKI Kamil	MACNAMARA Ruth	SZEPČYŃSKI Kamil	MACNAMARA Ruth
21 S6	Aligner	GOLOB Darko	KOCJANČIČ Urša	GOLOB Darko	KOCJANČIČ Urša
22 F3	Assistant at Finish	ROMBAUT Patrick	STEININGER Birgit	ROMBAUT Patrick	STEININGER Birgit
23 F5	Marshal Victory	BEREZIN Kathleen	WOUTERS Paul	BEREZIN Kathleen	WOUTERS Paul
24 M1	Pontoon area Marshal	PACKER Richard	KOCJANČIČ Borut	PACKER Richard	KOCJANČIČ Borut
25 M2	Warming Marshal (700 m)	TURK Valter	TURK Valter	BOŠKIN Edvin	BOŠKIN Edvin
26 M3	Warming Marshal (mid)	KAPPELER Stefan	KREK Gašper	KAPPELER Stefan	KREK Gašper
27 M4	Warming Marshal (end)	MOUSSÉ Maxime	GRČAR Robert	MOUSSÉ Maxime	GRČAR Robert
28 M5	Warm Up Marshal 0m	MANDIČ Igor	MOHORIČ Tomaž	MANDIČ Igor	MOHORIČ Tomaž
29 M6	Finish line Marshal	LITVAK Murray	MIZERIT Peter	LITVAK Murray	MIZERIT Peter
30 M7	Entry Marshal	BRIGGS Elizabeth	PAGANI Arnaldo	BRIGGS Elizabeth	PAGANI Arnaldo
31 CM1	Counting Marshal	ŽUVANIČ Ela	CLEMENTS Phillip	ŽUVANIČ Ela	CLEMENTS Phillip
32 CM2	Counting Marshal	TORTIC Dubravka	GUNNAR Magnusson	TORTIC Dubravka	GUNNAR Magnusson
33 N1	Numbers	SCOTT Prentince	ROSE Simon	SCOTT Prentince	ROSE Simon
	Jury Presidents		Board of the Jury		
PoJ	GOLOB Borut	MALEJ Simon	GOLOB Borut	VAN STEENWIJK Gijs	KARAJOVIĆ-IBROČIĆ Ružica

通常のレースにおける審判業務にはない、次の担当はマスターズだけの業務になります。

Pre-Starter

3分間隔でレースがスタートするので、1000mのレースコースの Start Tower と後方の練習水域の間に、Pre-Starter 用のポンツーンが設置され、次のレースから3レース分のクルーをコールして、1～8レーンの後方に出漕するクルーを待機させる業務を行う

Victory Pontoon

各レースが単独で完結し、その1位クルーに、レース終了後、フィニッシュ付近のメダルポンツーンでメダルが授与されるが、Responsible Finish からの無線連絡により、該当クルー呼び込む。

呼び込んだクルーの個々のアスリートのアクレディカードにより、本人確認を行い、メダルプレゼンターに通知する業務を行う。

また、マスターズ特有の対応もあります。

Bow Number

レース数が多く、多くのクルーが回漕水域や練習水域にいるため、種目・カテゴリー区分を明確にし、クルーを特定しやすくするために、A-1 から Z-8 の Bow Number が使用され、その呼び方は、航空無線で使用されるアルファベット通話表に基づき、A1（アルファワン）、B4（ブラボーフォ）、C8（チャーリーエイト）等とコールします。

Judge at Start

3分間隔でレースがスタートすること、一つ一つのレースが単独で完結するため、スタートのステッキボードは固定式。

Judge at Finish が艇首を揃えるために使用するスリットは、移動式で、種目に応じて、Judge at Start のポンツーン上に設置されたレール上に設置されたスリットを移動させて、艇首を揃えてスタートさせます。



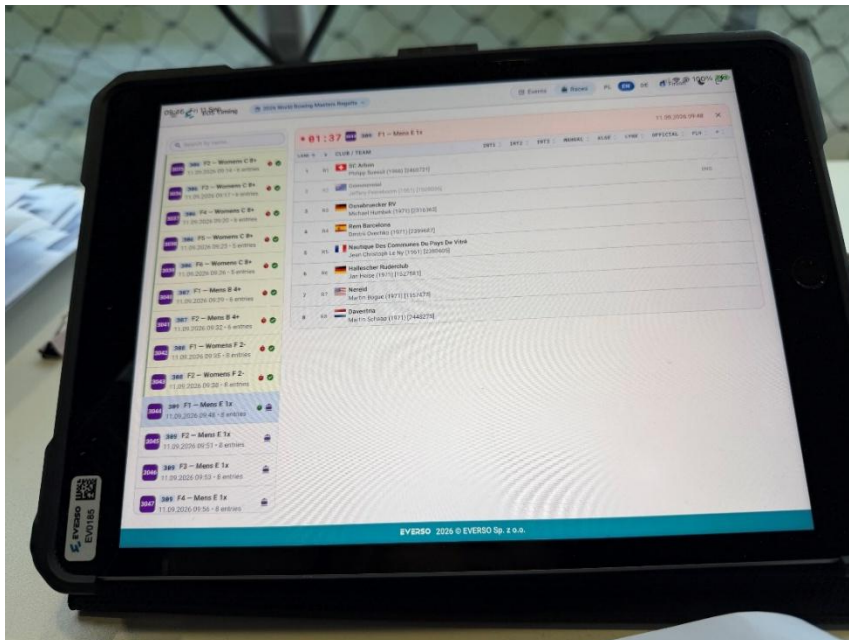
100m以内の艇故障

かつては、通常のレースでも適用されていた 100m以内における艇故障については、救済措置があり、艇の修理後、再スタートが認められます。(JARA マスターズローイング規定にもあり)

監視業務におけるタブレットの使用

JARA では、全日本選手権やインターハイ、国民スポーツ大会における監視業務において、タブレットを使用しているが、今回、World Rowing においても、タブレットが使用された。これは、マスターズ特有のクルーメンバーの変更が出漕カテゴリーの区分内であれば柔軟に認められることから、最新の出漕クルーメンバーの確認を Out Pontoon 等で行うことができるようにするためである。

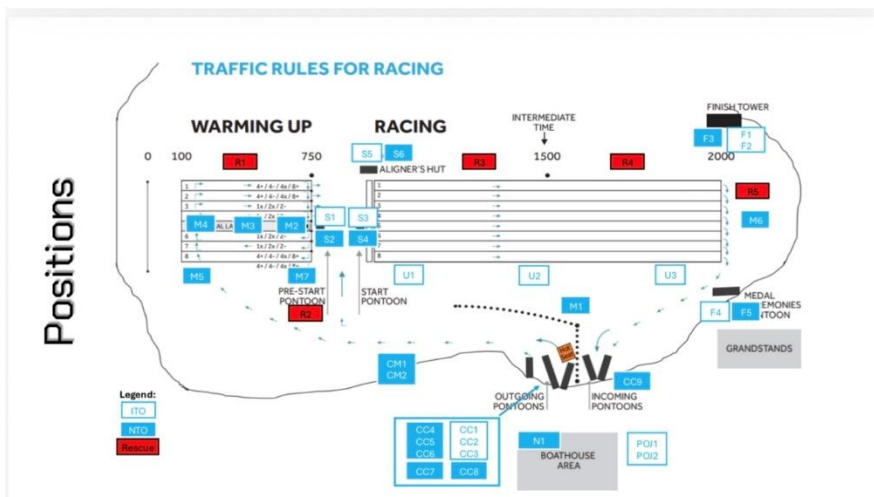
また、紙ベースでのスタートリスト使用を削減するために、個別審判員への配布も十分には行われず、審判業務に苦慮した。また、タブレットの文字が小さいこと、あくまでも、クルーメンバーの顔写真は ID カードで行うこと、雨天での業務、バッテリーの充電等、今後、改善が必要と感じた。



5 コースと審判艇、マーシャル艇の配置

マスターズのレースは距離 1,000m で、Start Pontoon の後方水域にウォーミングアップエリア、Pre-start Pontoon が設置され、それぞれの pontoon の間の水域が待機エリアで、Pre-starter が次のレースから 3 レース分のクルーを呼び込み、それぞれのレーンの後方に待機させる。

レースがスタートすると、Starter が順次、クルーを呼び込み、レースをスタートさせる方式により、2-3 分間隔のレースを行うことができる。しかしながら、なかなかウォーミングアップエリアから、待機水域まで到着しないクルーが多くて、到着遅れのイエローカードを受けるクルーが散見された。また、後年齢のクルーにおいては、自分のレーンがよく理解できずに、Pre-starter で繰り返し指示する必要があった。



コース図と救助艇、マーシャル艇配置



スタートポンツーン



スタートタワーからのコース

6 参加審判員（24名）

- | | | | | | |
|--|---|---|--|---|--|
| 
Kumamoto Koji JPN 1371 | 
Walker Simon NZL 1554 | 
Karajovic-Ibrocic Ruzica SRB 1428 | 
Gili Juan Carlos ARG 1677 | 
Christoffersen Lars DEN 963 | 
Li Wai Lam HKG 1897 |
| 
Ibrocic Petar MKD 1855 | 
Viacava Mendizabal Sergio PER 1756 | 
Van Steenwijk Gijs SUI 1320 | 
Schomberg Caroline AUS 1692 | 
Galisteo Alvarez David Miguel ESP 1564 | 
O'Callaghan Lisa IRL 1719 |
| 
Verbrugge Peter Paul NED 1179 | 
Pawlak-Kubasek Malgorzata POL 1618 | 
Mones Camara Alfredo Martin URU 1757 | 
Neirincs Chantal BEL 1243 | 
Packer Judith GBR 1569 | 
Rutenberg Daniel ISR 1116 |
| 
Clifford Gunnar NOR 1128 | 
Muirhead Carol RSA 1648 | 
Gallagher Erin USA 1686 | 
Fialho Carlos Alex BRA 1755 | 
Stephan Karin GER 1475 | 
Lisi Jessica ITA 1843 |



大会運営を支える ITO と NTO

7 引退審判員

今大会の Welcome Dinner において、3名の審判員 [GOLOB Borut (SLO)、GOLOB Darko (SLO)、CHRISTOFFERSEN Lars (DEN)] と World Rowing POJ を長年、務められ、Tokyo Olympic や審判員試験、セミナー等で JARA の審判員も大変、お世話になった Patrick Rombout (BEL) 氏の引退セレモニーが行われた。



引退審判員 (Borut, Darko, Patrick)

8 おわりに

これまで多くの World Rowing Events や Olympic 等の大会に参加してきて、今回、初めて、World Rowing Masters Regatta に参加する機会を得ました。参加者の多さ、世界各国から、幅広い世代の参加クルー、また、毎年の大会参加を楽しんでいるクルーを見ると、ローイングコミュニティの国を超えたすばらしさを感じました。また、日本での大会開催を望む声を、海外のクルーから多く聞きました。

日本での開催には、会場や宿泊施設、大会運営を行う体制等、多くの課題がありますが、大会開催

に伴う地元への経済効果も大きく、ローイングの今後の発展にも寄与することが想定されます。

来年、5月には、World Masters Games が琵琶湖で開催され、その成功が期待されるとともに、今後、World Rowing Masters Regatta が日本で開催されることを期待します。

最後に、今回の参加にあたり、ご支援、ご協力いただいた関係者の皆様方に感謝申し上げます。



Bled 湖のコースと周辺景観



最終レース終了後の運営舟艇によるパレード



多くの艇を収容できるボート置場